



夏季号 VOL.126

発行：平成28年6月

協力：朗読ボランティア
ういろうの会

快晴の一泊交流会 千葉県・鴨川



5月21日（土）朝8時、利用者と付き添いの方あわせて17名、ボランティア16名、総勢33名が千葉県鴨川をめざして『ふれあい号』で出発しました。湾岸線の大渋滞の影響で予定より2時間遅れてようやく最初の目的地マザー牧場へ到着。バスを降りて深呼吸をすると山の澄んだ空気は体いっぱいになり、木々を吹き抜ける風は涼しく、ほんのりと新緑の香りを帯びて初夏の訪れを教えてくれた。昼食の展望



レストランではラム肉や山菜など牧場ならではの料理を堪能、味も景色も最高でした。その後の自由時間ではビールを飲んだり、お買い物をしたり、動物と触れ合ったりと皆さん好きなことを楽しんでいました。かんぼの宿に到着してから各自お部屋でしばし

の休憩、その後はボランティア総出による恒例の入浴タイム。大浴場は温泉付きの展望風呂になっていて景色も最高でした。夕食は「えび、あわび、はまぐり」など房総の海の幸をふんだんに使った豪華料理に舌鼓。宴会ではビンゴ大会



を開催、喜ぶ人、不満を言う人で大いに盛り上がりました。そして宴会もいよいよ終盤になり、皆さんの声援と共に「大道芸人 坂本さん」の登場。華麗な？南京玉すだれに、笑いあり、驚きあり、でとても楽しい宴となって旅の一日目を終わりました。



翌日も朝から天気に恵まれました。お世話になった宿に別れを告げ、玄関前で記念撮影。そして旅の舞台もいよいよ最終章、鴨川シーワールドへ。入場ゲートを通り抜けると目の前には美しい海が一面に広がっていて潮風に乗って聞こえる海鳥たちの鳴き声が「ようこそ」と歓迎してくれた。広い園内では普段見ることの出来ない珍しい海の生き物たちがたくさんいて皆さん楽しそうに見学していました。ショータイムではイルカ、シャチ、アシカの豪快でかわいい姿にとっても癒されて、自由時間では海沿いのテラスでくつろいだり、ショッピングを楽しんだり皆さん自由気ままに過ごしていました。帰路のバス内ではクイズや歌の合唱で盛り上がり時間を忘れているうちに三鷹市役所へ到着、たくさんのお土産と思い出を持ってそれぞれの住まいへ…

今回訪れた千葉県鴨川、そこは房総のありったけの自然を全身で浴びたような、そんな素敵な場所でした。みんなでいっぱい遊んだ二日間は私たちの宝物です。また秋に笑顔でお会いしましょう！



大木さん(左)、樫平さん(右)



樫平さんのボランティアとして参加しました。日帰り、一泊と何度か参加させて頂いてますが毎回ボランティアさんの素晴らしさを実感させてもらっています。今回もスムーズな動きと配慮にそれを感じました。何回もの話し合いや実地踏査の末の結果と思われます。当日は素晴らしい天候での出発でした。山手トンネルを抜けた先から渋滞に巻き込まれてしまいましたが、バスの中のクイズ等でそれほどイライラしないで過ごす事が出来ました。マザー牧場ではアルパカを見て、羊の毛刈りは時間的に見られなかったものの、ボランティアさんやマザー牧場の方の配慮で珍しい羊に触れたり、刈ったばかりの羊の毛を頂き樫平さんは喜んでいました。宿泊先のかんぼの宿も使いやすくて快適でした。翌日の鴨川シーワールドは宿から近くて移動時間が少なく負担がかからないことが嬉しく思いました。晴天の下、豪快なシャチやかわいいアシカのパフォーマンスを見れて本当に楽しかった。二日間の食事についても配慮が見られうれしく思いました。渋滞という不可抗力では仕方ありませんが残念だったのは海ほたるの休憩時間がトイレ休憩だけで、海からビルや工場の眺めを楽しんだりお土産を見れなかったことです。樫平さんとも本当に楽しかったねと何回も言い合った交流会でした。企画をして下さった方、キャブの役員、ボランティアさん、ご一緒に参加した皆さんに楽しい時間をありがとうございましたと感謝の気持ちでいっぱいです。

大木 朱實



確か以前ここには来た事があったようだ。鴨川シーワールド。三十数年前の昔。

ただこの宿泊施設があったことは知らない。脳出血でやられて14年。もうダメだと思っていた。というのはその1年ほど前に大動脈瘤を患い、生きるか死ぬかと大変な時を体験した直後のことだったから。みたかハンディキャブの世話になってもう8年、いつまで続くのかしら。もうしばらく皆の前に姿を見せるかもしれない。その時はよろしく。そうそう海の話。誰と来たのか覚えていないが海岸の道を山の方から来たことだけ。その時、日蓮宗の大勝寺のおやまだったことは覚えている。

南無妙法蓮華經、無上じんじんの無妙の法は百千万講にもあいたてまつること堅し…で始まるお題目はこの頭がどんな風にイカレそうになっても決して忘れないだろう。

日野 正英

平成28年度総会開催

平成28年4月24日（日）午前10時より三鷹市福祉会館において、NPO法人みたかハンディキャブ平成28年度総会を開催いたしました。司会者の吉野正氏から開会の辞および出席者33名・委任状22名で現在の正会員数61名の過半数を超え総会は成立することが宣せられました。総会に先立ちまして最初に宮田栄一理事長より開会の挨拶が述べられました活動38年目を迎えて昨年6月には三鷹市とのパートナーシップ協定締結、新事務

所への移転が本年夏頃になること、障がい者支援課の様々なご支援、ご指導により事務局の自立が図られた事などの報告がありました。また利用者の皆様に喜んでいただける安全で安心な運営を心がける意向と今後も今まで同様のご支援ご指導をお願いして挨拶を終えました。



【来賓の方々のご挨拶】



三鷹市 市長 清原 慶子 様

パートナーシップ協定について、三鷹市の地域福祉・障害者福祉において多くの団体の中でもみたかハンディキャブは全国に先駆け福祉移送を行ってきました。そのことを踏まえて三鷹市とみたかハンディキャブがパートナーシップ協定を結ぶことで障がいのある方、高齢の方、必要のある方に公正中立なサービスを提供する協定を交わしました。この主旨を市議会議長はじめ、議員の皆様や中村洋都議にもご理解いただき社会福祉協議会の吉野会長他協議会の皆様とも交流していきたい。またみたかハンディキャブには交通安全励行の模範として三鷹市全体の交通安全を実現して貰い、ともに市民の皆様の福祉の向上・安全安心な移送のための努力をしていきたいと思えます。



三鷹市議会議長 後藤 貴光様

みたかハンディキャブはハンディのある方たちの足となり地域の福祉輸送を担っていて大変有意義な活動をされております。また市の行事に多くのご協力いただいていることにも心から感謝いたします。これからも安全運転でよろしくお願いいたします。



東京都議会議員 中村 洋様

今日のような悪天候でも出かけられる足があるということは本当にありがたい活動です。いろいろな社会への参加の取り組みの中でハンディキャブが取り組んでいる活動は責任があり継続して行わなければならない大変なことです。秋からは新しい場所で新たな気持ちでより一層活動が活発になり利用者にも喜ばれ、三鷹の町全体が元気になることを心から祈念いたします。



三鷹市社会福祉協議会 会長 吉野 寿夫様

ハンディキャブの活動には賛助会委員として長く深く関心を持ってきました。日頃三鷹市や協議会の行事には安全に運行して頂き感謝しています。交通安全協会の会長として、キャブは公認された事業所としては模範の団体であるとの認識を持っています。これからも市民の足として期待に応えて頂きたい。それについては協議会も応援いたします。



健康福祉部長 濱中 純子様

平成 25 年の市の監査以来厳しく対処してきましたが解決に向けての協力を感謝します。ハンディキャブの高尚なボランティア精神に基づく活動に市も財政的に支援をしていますが、財政支援は市民の大切な税金を地域福祉向上のために使わせて頂いているため市民の皆様にも堂々と胸を張って説明できるように厳しく対処してきました。今後とも市民に信頼され活動がより一層輝くことを切望しご協力を賜りたいと思います。

以上、来賓の方々からのご挨拶でした。

平成 28 年度 理事会新体制

役 職	氏 名	担 当
理 事 長	宮田 榮一	
副理事長	平 智享	総務部
副理事長	東垣 隆満	運行部
副理事長	佐藤 隆志	広報交流部
理 事	吉野 正	総務・経理
理 事	上條 正名	総務
理 事	須山 正人	運行管理システム特任
理 事	望月 栄成	整備担当・シニア研修
理 事	生田 勇	運行担当
理 事	坂本 昭雄	交流担当
理 事	伊藤 五十鈴	交流担当
理 事	加持 真人	研修担当
理 事	吉沼 徳人	研修担当

	氏 名
監 事	坂東 日出彦
監 事	清水 紘子

塩沢さんを送る会

この度、塩沢さんが運転ボランティア定年を迎えられました。総会終了後に大勢の正会員が見守る中で宮田理事長から労いと感謝の言葉が贈られました。その後、正会員代表として事務局の今井さんから綺麗な花束と記念品が贈呈されました。塩沢さん、本当にお疲れ様でした！



理事長就任の挨拶

理事長 宮田 榮一



梅雨本番のうっとうしい日々を迎え、皆様におかれましては、体調の維持にご苦労されていることと存じます。くれぐれもご自愛くださるよう、念じ上げる次第です。

本誌「あおぞら」の前号で理事任期满了のご挨拶を述べたところですが、再度信任をいただき、責任の重大さに身の引き締まる思いです。

今後も利用者の皆様の安全安心な運行を第一と考えるとともに、ボランティア会員の皆様が有意義な活動だと感じられるよう、団体の運営に努力してまいりたいと存じます。新事務所への移転も予定より早まり8月初旬となりました。そのほか多くの課題が山積しておりますが、皆様のご支援、ご協力を得て乗り越えるよう、努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

副理事長就任の挨拶

総務部 副理事長 平 智享



これまで、広報交流部の担当理事として、交流誌「あおぞら」を通じて、またコーディネーターとして、利用者の皆様と接しさせていただいてまいりましたが、この度の総会で理事に再任され、総務担当および事務局長として、みたかハンディキャブの活動に関わることとなりました。今回の任期中には、事務所の移転・福祉有償運送更新登録など、山積する課題に取り組む事となります。微力ながら、

ボランティアの皆さんと力を合わせ、多くの課題に向き合いながら、利用会員の皆様の安全・安心な運行をめざして、努力する所存です。皆様のご理解・ご協力のほどお願い申し上げる次第です。

運行部 副理事長 東垣隆満



俗世に馴染めず優柔不断な私がみたかハンディキャブの仲間で居られる喜びを感じ♪やさしく、もっとやさしく活動して参ります！元気があればこのキャンピングカーで四半世紀前に逆走したい！？

アントニオ東~~×~~

広報交流部 副理事長 佐藤隆志



私たちの活動である「福祉有償運送事業」には厳しい法規制があります。これにより介護タクシーのようなプロのサービスを提供することは出来ませんが、その分「心」を込めた「優しさのプロ」で在りたいと願います。私は交流会でみんなと一緒に笑える時間が好き。あおぞら号の小さなキズで悲しんだり、雨上がりのクモの巣がキラキラ宝石みたいとか、そんな心をずっと忘れない。再び交流部の一員になれたことに感謝して、これからも真心と笑顔で活動していきます。

理事就任の挨拶

総務部 総務担当 上條正名



Photographer の上條と申します。（昔はカメラマンで今は写真家と称します）写真屋さんではありません。平成 26 年 10 月からキャブに入会しました。ですから未だ 2 年経っていません。一言多いものですから仕事しろ。ということで理事に選ばれました。昔` 勤労奉仕` という言葉がありました。無理やり押しつけられて。という印象ですが、「ボランティア」という言葉には自主的に。という精神性を感じます。この事に` 心して` 活動していこうと思っています。

総務部 総務・経理担当 吉野正



この度の総会で理事に再任されました総務担当の吉野と申します。これまでの二年間は総務部副理事長として、また事務局長として活動をして参りました。その経験を元に今後も一層の努力する所存です。微力ではありますが今後も事務局のお役に立てれば幸いです。皆様これからも宜しくお願いいたします。

運行部 運行担当 生田勇



新年度より運行部担当の一人として活動します生田です。会報に載せる挨拶文の提出という事で簡単なノリで書けるものではなく困っていましたが、すでに 28 年度活動方針も決定されておりスムーズな運営が出来る様、勉強してまいります。又、これまでの運転経験から何かを生かせたらと思っています。よろしくお願いします。



運行部 整備・シニア研修担当 望月 栄成

私は中学二年の時に埼玉県から武蔵野市へ引越して、中学校の運動部に入部しました。その後に受けたツベリクリン検査が陰性で過激な運動を控えるよう指導を受け、近くの絵画教室へ入りました。この教室が三鷹市大沢にあった『友愛学園』という障がい児施設だったことから私がボランティアに関わるきっかけとなり社会人になっても続いています。キャブでは運行部で頑張りますので宜しくお願い致します。



運行管理システム特任 須山 正人

ハンディキャブにお世話になって早や4年が経とうとしており、この度、2期目の理事を仰せつかりました。この4年間の運行やコーディネータとしての経験を踏まえ、益々、安心、安全な優しい運行で利用者さんのお役に立てるよう努めると共に、先輩が培ってこられた資産をベースに運行管理システムを更に使い易いものにすることに尽力したいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



広報交流部 交流担当 伊藤 五十鈴

交流担当の伊藤五十鈴です。広報交流部、そして研修担当の方々と一緒に会員の方々からのご要望を土台にして進めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

〔みたかハンディキャブ〕がこれからも多くの方々の関わりに支えられてつながっていきますように！



広報交流部 交流担当 坂本 昭雄

このたび、交流部担当の理事になりました。日帰り交流会や一泊交流会など利用者の皆様方と交流する機会が多いので、とても楽しみにしております。

これらの交流会は、なかなか普段の生活では体験することが難しいようなところを巡ったり、また、キャブの利用者さんとボランティアが仲良く一緒に楽しく過ごせるようにとの願い（＝交流）で企画しております。これからも楽しさ盛りだくさんの交流会になるように頑張りますので、是非皆様方のご協力とたくさんのご参加をお願いいたします。



広報交流部 研修担当 加持真人

このたび平成28年度の新理事に就任しました加持真人です。みたかハンディキャブの所属歴は約20年と長いのですが、土日休日だけの運行協力で、運営にもほとんど関わって来ませんでしたのでどれだけお役にたてるかはわかりませんが運行に関しては「周りは何をするのかわからない赤の他人」との自覚と「自分の運転は利用者にとって最高」との自信を持って行っていくつもりです。今後も会員各位のお力添えのもと責務に励みたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



広報交流部 研修担当 吉沼徳人

皆さんこんにちは、今年度の役員改選で理事に就任しました吉沼徳人で御座います。ハンディキャブをお手伝いするようになり、まだ1年と言う日の浅い中での就任で何かと戸惑っておりますが、少しでもお役に立てればと思いお受け致しました。研修担当と言う事ですので、研修会では楽しく進められるよう努力して参りたいと考えております。まだまだ未熟者ですが利用者様とボランティア仲間の皆様にお支え頂いて2年間頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

☆ みたかハンディキャブ緊急連絡先 ☆

事務所時間外「17:00～翌9:00、日祭日」で発生した翌日および当日朝のキャンセル等で緊急に連絡が必要な案件は緊急連絡先へ連絡をお願いします。

なお、前日確認・予約はできません。

東垣副理事長・運行責任者 080-1102-7281

万一、上記連絡先で連絡が取れない場合のみ、下記にご連絡ください。

平副理事長 090-6503-7880

佐藤副理事長 080-5441-1965

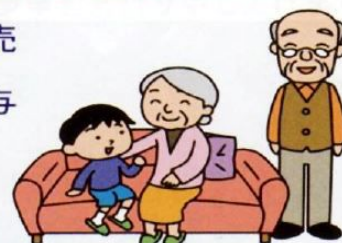
宮田理事長 080-3256-8660



私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



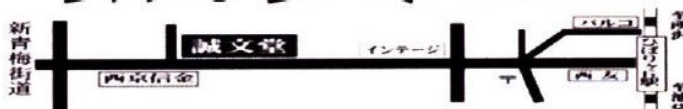
<サカイ・ヘルスケア三鷹店>
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

名刺・はがき・封筒・
チラシ等の印刷
(データ持込可)
印章・各種ゴム印
ラミネート加工等
全てがスピード対応!!

とにかく便利なお店です。
是非一度ご来店ください。
<http://seibundo-n.com>

文具・事務用品

誠文堂



TEL: 042-422-9447
西東京市谷戸町2-9-3

引越しに伴う運行予約締切日変更のお願い

日頃、みたかハンディキャブをご利用いただきありがとうございます。
ボランティアセンターの完成に伴う引越しのため、次の期間はハンディキャブ事務所はお休みさせていただきます。

8月5日（金）～8日（月）

この間も運行は通常通り行いますが、ご予約の締切りを以下の通りとさせていただきます。

運行希望日		予約締切日
8月5日（金）～8日（月）	⇒	8月2日（火）
8月9日（火）～11日（木）	⇒	8月3日（水）

上記以外は、従来どおり運行希望日より3日前の予約締切りとなります。
以上、ご協力のほど、お願い申し上げます。

運行時の貴重品管理について

●利用会員へお願い

- ・貴重品は極力、運転手には預けず自己管理をしてください。
- ・やむ得ず運転手に預ける場合は貴重品が入っている旨を必ず伝えてください。
- ・万一、故障や破損した場合はボランティア保険の保障範囲内のみ保障となります。
- ・貴重品の紛失等については一切責任を負えません。

●運転ボランティアへお願い

- ・利用会員から預かった荷物はくれぐれも慎重かつ丁寧に扱ってください。
- ・利用会員の降車後は忘れ物がないか車内をよく確認してください。

以上、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

平成28年夏季号をお送りします。この交流誌は、ハンディキャブの活動を通じて、年間4回発行する相互交流の場です。今春の役員改選により『あおぞら』も今号から編集担当が交代しました。不慣れではありますが、ボランティアと利用会員の皆様との交流が一層進みますよう、これまでと変わらぬご支援ご愛読の程お願い申し上げます。

S

発行 NPO法人 みたかハンディキャブ

〒181-0013
三鷹市下連雀8-6-15-404

TEL 0422-41-0185

FAX 0422-41-0274

E-mail : mcab3@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ : みたかハンディキャブ